News Release

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

令和８年１１月２日

各報道機関文教担当記者　様

金沢大学環日本海域環境研究センター　市民講演会
七尾湾の堆積物から過去１００年の環境変動を読み解く

１１月１４日，**金沢大学環日本海域環境研究センターは，市民講演会「国連海洋科学の１０年 七尾湾の過去から現在までの環境変動を読み解く」を開催します。**

陸域と海洋にまたがる沿岸域は，人々の暮らしや産業活動の中心的なエリアとして機能している一方，**大気・陸域・海洋における環境汚染の問題が顕在化**しています。農業活動，少子高齢化に伴う森林・水田の管理放棄による土地利用形態の変化，**気候変動による線状降水帯の発生や台風による集中豪雨の増加**などによって，陸域から海洋へ流入する窒素・リンの量が変化し，沿岸域の生物生産性に影響を及ぼす可能性が指摘されています。

本講演会では，能登半島の七尾湾堆積物に記録された過去１００年程度の環境変化を紹介し，身近な環境で起こっている現象を解説します。

ついては，**事前および当日の取材・報道をよろしくお願いします。**

金沢大学環日本海域環境研究センター　市民講演会
「国連海洋科学の１０年　七尾湾の過去から現在までの環境変動を読み解く」

日　時：　令和８年１１月１４日（土）１３：３０～１５：００
場　所：　石川県政記念しいのき迎賓館　３階　セミナールームＡ（金沢市広坂２－１－１）
対　象：　どなたでも参加可能　※参加申込が必要です
講　師：　金沢大学　環日本海域環境研究センター　教授　長尾　誠也
　　富山大学　理学部理学科　教授　堀川　恵司　氏
　　金沢大学　環日本海域環境研究センター　助教　落合　伸也
※詳細は，別紙チラシをご参照ください。

＜本件照会先＞
環日本海域環境研究センター教授　長尾
Tel：０７６－２３４－６９６１
Email：seiya-nagao@se.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学理工系事務部総務課総務係　松田
Tel：０７６－２３４－６９５１
Email：s-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

主催： 金沢大学 環日本海域環境研究センター
後援： 金沢大学能登里山里海未来創造センター、 北國新聞社

別紙

金沢大学環日本海域環境研究センターおよび金沢大学先端科学・社会共創推進機構は持続可能な開発目標を（SDGs）を支援しています。

市　民
講演会

国連海洋科学の 10 年
七尾湾の過去から現在までの環境変動を読み解く



日時｜2026 年 11 月 14 日（土）
13:30–15:00（受付　13 時～）
場所｜石川県政記念しいのき迎賓館
セミナールーム A（金沢市広坂 2-1-1）

写真：七尾湾

申込方法：参加希望の方は、下記申込フォーム（QRコードからも可）または
076-234-6961（環日本海域環境研究センター事務局）まで
お申込み下さい。《定員：30 名、申込締切：11/10（火）》
申込フォーム：https://forms.gle/ywMyQBHbxgnP5YEW9

参加無料
要申込

【プログラム】

13:30–　開会挨拶
13:35–　開催趣旨
13:40–「堆積物有機物から推測する七尾湾の生物生産の変動」
金沢大学　環日本海域環境研究センター　教授　長尾誠也
14:05–「泥から見る『七尾湾の健康診断』」
富山大学 理学部理学科 教授　堀川恵司
14:30–「七尾湾の堆積物から読み解く周辺地域の土砂災害史」
金沢大学　環日本海域環境研究センター　助教　落合伸也
14:55–　閉会挨拶

〈会場までのアクセス〉
石川県政記念しいのき迎賓館
〒920-0962　石川県金沢市広坂2丁目1番1号

交通案内（バス）
・JR金沢駅バスターミナル よりバスにて「広坂・21世紀美術館」または「香林坊（アトリオ前）」下車　（所要約10分）、徒歩約5分

【お問合せ】
金沢大学 環日本海域環境研究センター
（〒920-1192 金沢市 角間町）
Tel：076 - 234 - 6961 / e-mail: kannihon.ka@gmail.com
Webページ：https://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/